

# 8月報(2023年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26

☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615

e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

## 【被昇天について】

主任司祭：ミカエル金神父

8月15日の聖母の被昇天の祭日を迎えて、その教会の教えの起源と形成過程を紹介します。

### 「聖母の被昇天」の教義の誕生

被昇天という表現は自らの力で天に昇天したイエスの昇天（Ascension）とは異なり、神によって「昇天された」（Assumption）という区別をするためです。

「原罪のいかなる汚れにも染まらずに守られていた汚れなき処女は、地上生活の道程を終えて、肉体と霊魂ともども天の栄光に引き上げられ」という聖母の被昇天の教義が宣言されたのは、ピオ12世使徒憲章『Munificentissimus Deus』を発表した1950年11月1日のことでした。



しかし、聖書や初代教会の文献に直接的に聖母マリアの肉体と霊魂の昇天に関する記述はありません。墓の位置や遺体に関する記録も明確ではありませんでした。そのため、ピオ12世の宣言まで聖母マリアの被昇天について論争があったのは当然のことでした。

聖母の生涯に関する言及は4～5世紀に遡ります。当時は聖母信心が非常に盛んで、「聖母の死」「聖母の葬儀」などの題名の文献がさまざまな言語に翻訳されました。それからルuterの宗教改革だったり、ヨーロッパ各地の戦争だったり、政治の不安定な時期に信徒の間では聖母信心が盛んになってきました。信心とともにそれに答えるための神学の研究も進みました。これらの動きから1840年頃には聖母についての教義が公式化されるべきだという要望が教皇庁に提起されました。

ピオ9世教皇が、教義教書『Ineffabilis Deus 卓越せる神』をもって、「至聖なるおとめマリアは全能の神の特別な恵と恩典により、人類の救い主イエス・キリストの功績を見越して、彼女が懐妊された最初の瞬間から、原罪のあらゆる汚れより免れていたと主張する教義は神の啓示」（DS 2803）であると認めたのは、1854年12月8日のことです。

ピオ9世の教書以降、ローマでは聖母マリアの被昇天も教義として規定し、布告されるべきだという要請が広がりました。第1バチカン公会議までに、113人の教皇代理、300人以上の大司教と司教、3万2千人以上の司祭と修道士、50万人以上の女性修道士、800万人以上の信徒が署名した請願書が含まれていました。

ついにピオ12世教皇は、1946年に全世界のカトリック主教に対してアンケートを送りました。「尊敬する兄弟たちへ、あなた方は聖母の身体的昇天を私たちの信仰教義として規定し、宣言することができるか、知恵と賢明さを持ってよく判断されるようお願いいたします。また、あなたがたが導く聖職者と信徒たちがこれを望んでいるかについての回答をお願いいたします」という内容でした。アンケートの回答結果は「ほぼ全員が賛成」として発表され、ついにピオ12世は1950年11月1日に「われわれの主イエズス・キリストの権威と、使徒聖ペトロと聖パウロの権威、および私の権威により、無原罪の神の母、終生処女であるマリアがその地上の生活を終わった後、肉身と霊魂とともに天の栄光にあげられたことは、神によって啓示された真理であると宣言し、布告し、定義する」と聖母の被昇天の教義を宣言するに至りました。この点において、聖母の被昇天に関する教義が教皇の主導でなされたというよりも、信者たちの要望と信心によるものであったことに注目する価値があります。

その後の第2バチカン公会議では、聖母の被昇天に関して「原罪のあらゆる汚れから免れ守られた無原罪のおとめは、地上での生活を終えてから、肉体、霊魂ともども天の栄光に引き上げられ、主から、すべてのものの元后として高められた。それはマリアが、主の主であり、罪と死に対する勝利者である自分の子に、より完全に似た者となるためであった」と宣言しました(LG59)。

聖母マリアの被昇天を「キリストを信じる者たちの未来を示したもの」といいます。教会の模範である聖母が天に引き上げられた昇姿を見て、「マリアの中で完成される救済の業績を見て希望を持つ」ということです。

### 【ブラザー阿部のみ言葉の分かち合い】～マタイ福音書17章～

『湖に行って釣りをしなさい。最初に釣れた魚を取って口を開けると、銀貨が一枚見つかるはずだ。それを取って、あなたの分として納めなさい。』

今日は、この不思議なイエスの言葉を考えてみました。  
イエスのなさることは、本当に不思議です。イエスは、私たちが思ってもみない方法で、私たちを導かれることがあります。私も何度か経験があります。  
私たちは、何度願っても聞き入れられない事がよくあります。  
神さまは、私の祈りを聞いて下さっているのだろうかと心が揺れます。皆さんも経験がありませ

んか？そして、ある時に信じられない出会い、出来事によって実現し叶えられるのです。それも、私が願っていたことも忘れてしまった頃に。でも、叶えられたその時が、素晴らしいお恵みに変わる時なのです。あの時に叶えられなかった意味が、その時に分かるのです。

でも、そのためには、たゆまない祈りが大切なのです。神さまにこれでもかと甘え願いましょ。う。何度甘えてもいいのです。そして、もちろん、その願いは、自己中心的な願いではなく、身の回りにいるすべての人の祈りとなりますように。

そして、回りのすべての人が、互いに祈り合う世界が実現するならば、天の国はそこにあるのです。互いに祈り合うこと、それは本当に神さまの望みです。それは神さまのみ国の実現です。世界中の人が、この心をもつならば平和な世界はもうそこにあるのです。

そのためには、まず、私たちの回りから小さな平和の種をまきましょう。

### 【大人の教会学校】

富田恵子

第一回は、司教教書を手にして始まりました。

なんと表紙のハトの絵はミカエル神父様の作だそうです。

ルカ書のエマオの道の2人の旅人とイエスの関係から…

2人が話をしながら歩いている、そこにイエスが声をかけた。2人はナザレのイエスが十字架にかけられて墓に葬られたこと、3日目の朝、婦人たちが墓に行くとき空っぽで、天使が復活されたと告げたこと、婦人にイエスが現れたことを話したが、物わかりが悪く心の鈍い者は気が付かない。それでも無理にひきとめて宿に行きそこでパンを裂いて渡されて、はじめて目が開きイエスと分かった、という箇所から引用されたこの司教教書はまことの意味を教えてくれる。

どこを歩くか？何を話しているか？日本のこの道で、これをやらなくては前に進めない警告ではなく、希望のうれしい心を燃やす！協力してみます！喜びで燃えあがることを目指しています。

聖霊のメッセージを聖書から読み解きましようと呼びかけられました。

### 【シスター北村の講座を受講して】

樽谷 由香

いつも南相馬便りを寄せてくださるシスターの講座が受けられると知り、受講しました。まず、福島の説明から始まり、知らなかった福島のことを分かりやすく知ることが出来ました。それから、援助マリア修道会の修道院を小高に開きたいきさつ、特に「灯りをともしてください。一緒に住んで一緒に生きてください。」という地域の方の声に答えたこと。真っ暗な町に灯りがともるといことがどんなに力になるかということを知りました。

各地で大雨災害が起こっていますが、こちらは今のところあまり激しい雨でないので、ほっとしています。優しい太陽に微笑んでもらいたいですね。

今回は、トリチウム汚染水について少し詳しくお話しします。

政府は今年の春から夏にかけて汚染水の海洋放出を実施する閣議決定をしています。現地の人々の理解を得てという大条件が満たされていないにもかかわらず。



トリチウム汚染水のことを報道では処理水と呼んでいます。汚染というマイナスイメージを少しでも薄めたいのかもしれませんが、確かに、多種の放射線物質を除いて(処理して)トリチウムだけが残ってしまうので処理水といわれるのも頷けるのですが、やはりトリチウムが残っているのですから汚染水と呼んでもよいでしょう。

汚染水は、地下水と雨水が放射性物質を含む建屋に流れ込んで放射線に汚染されてできるので、増え続けるのです。福島第一原発のある地域は大変地下水の豊富な土地なのだそうです。そのために原発を建設した当時から地下水に悩まされ、サブドレンという地下水をくみ上げる井戸を、57本設置し、原発稼働中も一日当たり 700 m<sup>3</sup> (25mプール2杯分)を毎日くみ上げていたそうです。

現在、この大きな保管用処理水タンクが 1060 基以上敷地にあります。間もなく、敷地に収まらなくなるとのことで海洋放出という結論です。しかし敷地はまだまだ 7 号機、8 号機の建設予定地があると聞きます。

以下は、福島県の「ふくしま共同診療所 医師連絡会」が発行している「被爆・診療 月報」という冊子から抜粋した記事です。(2022 年 12 月 1 日発行)

### 約束を反故にした暴挙

政府は 2023 年春から福島第一原発敷地内の放射能汚染水を海洋放出することを閣議決定した(2012 年 4 月 13 日)。東京電力も海底トンネル排出孔の建設を地元の許可なく始めるなど着々と準備を進めている。汚染水の海洋放出については、福島県内の 7 割を超える自治体が反対もしくは慎重な対応を求める決議や意見書を議決している。加えてこの決定は、東京電力社長と経済産業大臣が福島漁連と約束した「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という文書を反故にするものである。岸田首相も約束違反ではないかという国会での質問(2022 年 3 月 10 日)に、放出決定の変わりはないことを強調し、「理解を得られるよう努力する」などと繰り返している。その姿勢は県民や漁業者の意向を無視した暴挙といえるもので、厚顔無恥な居直りそのものである。



このままでは来年3月の海洋放出は強行されてしまう可能性が高い。

### 有機結合型トリチウムの危険性

現在貯蔵されている汚染水は、排出基準すら守れなくて貯蔵せざるを得なかったものである。2018年9月には「トリチウム以外は除去できる」とされていたALPSで処理した汚染水の80%でストロンチウム90やヨウ素129などが残っていることも判明している。トリチウムだけに関しても、半減期は12.3年、リスクが無視できるレベルに低減するまでに120年以上かかる。しかも生物の体内に入ると一部が有機結合型トリチウムになり、体の組織に取り込まれて長く留まることが知られている。DNAに取り込まれた場合弱いエネルギーでもその化学結合を切断する。2ヶ所以上が切断されると誤った修復になる恐れがある。

タンクに貯蔵されている汚染水には微生物の存在も報告されている。そうすると汚染水の一部は有機結合型トリチウムとして海洋放出される恐れが出てくる。このような恐れを政府はまったく考慮していない。ドイツ政府は原子力発電所の周辺で子供たちの白血病が有意に増加しているという疫学調査結果を公表した(2007年)。これについてトリチウムの被ばくが原因ではないかという仮説が展開されている。トリチウムの健康影響を無視してよいとの考えは「科学的」でも「正確」でもない。

### 海洋放出を阻止し豊かな漁場を守ろう

東電は20年1月の時点でトリチウム総量を2069兆ベクレルと評価している。タンク貯蔵量は860兆ベクレルだが、事故当時のまま手つかずに高濃度の汚染水がたまっている建屋もあるからだ。1キロの海底トンネルを経て福島沖に放出された汚染水は、広範囲に均一に薄まることが想定されている。しかしこの想定は事実と異なる。潮の流れは複雑で、3層に流れることが知られている。地形によっては濃度の高い場所ができて不思議ではない。放出されたトリチウムが海洋生物に取り込まれ、これを食料とする人間に戻ってくるのである。

福島の海は、南からの日本海流と北からの千島海流がぶつかり合う潮目になっているため、よい漁場に恵まれている。いわき市ではカツオやイワシなどを獲る沖合漁業が、相双地方ではヒラメやカレイなどを獲る沿岸漁業が主に行われている。この豊かな漁場をこれ以上汚染させてはいけない。後略



本当にこれ以上漁場の汚染も、漁師を生業としておられる福島・浜通りの人々を苦しめることは許されないと 생각합니다。トリチウムは安全だというのですが、また安全神話で取り返しのつかないことにならないとも限りません。もっともっと慎重に議論をして納得のいく解決策を求めたいと思います。この写真はトリチウム処理水を小瓶に入れて見学者に無害ですよと説明するものです。(ちょっと見えにくいですが右から2番目の私が手に持っている小瓶がトリチウム水) 昨年、原発視察をした時の写真です。

## 【帰天のお知らせ】

ユスチノ 三宅光三様 (94 歳)

謹んでお知らせします。どうぞ心を合わせてお祈りください

## 【8月・9月の行事予定】

8月		9月	
6(日)	主の変容	9/1~10/4 すべてのいのちを守るための月間	
	日本カトリック平和旬間(15日迄)	8(金)	聖マリアの誕生
	広島平和記念日	10(日)	敬老会
	広島教区司教座教会献堂記念日	18(月)	広島教区 100 周年閉年ミサ
8(火)	福山空襲記念追悼	24(日)	世界難民移住移動の日
15(火)	聖母の被昇天 終戦記念日	29(金)	ミカエル神父様霊名の祝日
		30(土)	侍者合宿

## 【編集後記】

原爆・終戦、聖母の被昇天。8月は祈りの時。6月に始まる沖縄・広島・長崎に心を寄せて、78年連綿と続く<sup>いのり</sup>祈禱の輪に心を繋ぎ、共に静かに祈りたい。合わせて今。ウクライナ・ロシア戦争。祈っても祈っても、終わらない。増々のエスカレートにもう諦めてしまっている。。。。。

ブラザー阿部の祈りに心を寄せて、たゆまず祈りたい。

「私たちは、何度願っても聞き入れられない事がよくあります。神さまは、私の祈りを聞いて下さっているのだろうかと心が揺れます。皆さんも経験がありませんか？そして、ある時に信じられない出会い、出来事によって実現し叶えられるのです。それも、私が願っていたことも忘れてしまった頃に。でも、叶えられたその時が、素晴らしいお恵みに変わる時なのです。あの時に叶えられなかった意味が、その時に分かるのです。でも、そのためには、たゆまない祈りが大切なのです。」 (N.T.)